

ナジック杯関学大原稿賞

報知新聞社・ナジック学生情報センター共催「ナジック杯第13回大学スポーツ新聞コンテスト」の表彰式がこのほど、大阪市北区の読売大阪ビルで行われた。学内スポーツ新聞を発行する全国16大学が参加。最優秀賞「ナジック杯」原稿賞に関学大、企画賞に東洋大、写真賞に近大、レイアウト賞に明大がそれぞれ選ばれた。また「プロボクシングWBC世界ライトフライ級王者 寺地拳四朗(28) BMBII」がゲストとして登場し、学生と交流した。



学生情報センター・吉浦勝博代表と取組役員からナジック杯を取られた関学大・玉越裕基さん

【ナジック杯・寸評】 関学大の新聞は毎年、読み応えがある。1面は、塩谷選手へのインタビューが伝わり、2面は、上下関係の改革が優勝へ導いたという剣道部女子の記事も、中身が具体的で話をよく聞き出している。レイアウトも色のコントラストもスッキリ。

【原稿賞・寸評】 平均的に原稿の構成がしっかりしている。全試合のスコア、略歴、競技の説明まで補足されており、文句なし。

【ナジック杯・寸評】 拳四朗「減量中サウナでぶっ倒れた」に驚きの声

母校・関大も参加

サライズファクトとして参加した寺地が、母校である関大を含めた大学生を前に自らのボクサー人生を語った。昨年12月23日にWBC世界王者の7度目の防衛に成功。この日はチャンピオンベルトを持参し、学生に披露した。寺地といえばボクサーらしいからぬ柔らかな笑顔とダブルピースが有名だが、私生活で怒ることはほとんどなく、怒り方がよくわからないという自らのボクサー人生を語った。昨年12月23日にWBC世界王者の7度目の防衛に成功。この日はチャンピオンベルトを持参し、学生に披露した。寺地といえばボクサーらしいからぬ柔らかな笑顔とダブルピースが有名だが、私生活で怒ることはほとんどなく、怒り方がよくわからないという自らのボクサー人生を語った。



ゲストのボクシング世界王者・寺地拳四朗(手前中央)とともにポーズをとり、笑顔を見せる各大学の学生たち(カメラ・渡辺 了文)

東洋大 企画賞

MAJORコラボ

昨秋のプロ野球ドラフト会議でロケテに2位指名された佐藤志也捕手の特集号外。週刊少年サンデーで連載された漫画MAJORのイラストが使われている。提案者の川口朋珠さん(3年)は

「一般のスポーツ紙や明大さんの新聞を見てこういうやり方もあるんだ」と。小学館さんの許可を取り、幼少期からの写真も多数掲載。母親への取組も取材。東洋大OBのプロ選手表など網羅。

【企画賞・寸評】 入念に準備した見事な企画。出版社からイラスト提供の許可を取り、幼少期からの写真も多数掲載。母親への取組も取材。東洋大OBのプロ選手表など網羅。

【レイアウト賞・寸評】 レイアウト賞を受賞し笑顔の近大・小寺香名さん

レイアウト賞を受賞し笑顔の近大・小寺香名さん

レイアウト賞を受賞し笑顔の近大・小寺香名さん

レイアウト賞を受賞し笑顔の近大・小寺香名さん

明大 レイアウト賞

プロ級スタメン図

関学大ラグビー対抗戦の早大戦(昨年12月1日)展望号。「選手や保護者、基本4人で、レイアウトはスキルの優れた3年生2人を固定し、残り2人は下級生で行う。大学の図書館に置いてある新聞も教材。」

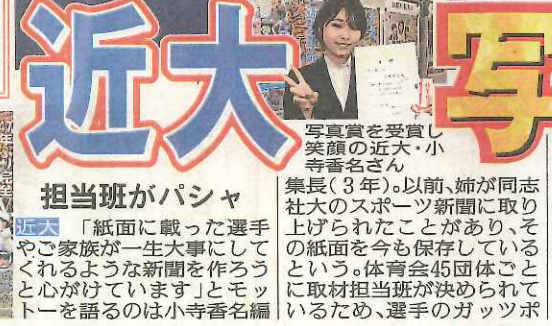
【レイアウト賞・寸評】 2、3面の顔写真&イラストを効果的に使った明早戦予想スタメンは、プロレベルの出来。

近大 写真賞

担当班がパシャ

「紙面に載った選手やご家族が一生大事にしてくれるような新聞を作ろうと心がけています」と mottoを語る小寺香名編集長(3年)。以前、姉が同志社大のスポーツ新聞に取り上げられたことがあり、その紙面を今も保存しているという。体育会45団体ごとに取材担当班が決められているため、選手のガッツポーズのタイミングなど「面白い絵を撮るポイントは把握しています」と笑顔で語った。

【写真賞・寸評】 1面の女子空手の写真は、全日本優勝が決まって抱き合う最高の瞬間を捉えている。2面のバレーボール、剣道、合気道などの写真も良い。



ますます、学生のために。これからの社会のために。

ナジック学生情報センターは、全国の大学スポーツ新聞の活動を応援しています。

留学生も含めた学生の住まいから、アルバイト、就職支援まで、学生生活をトータルにサポートしています。

株式会社 学生情報センター

京都本社：京都市下京区烏丸通七条下ル ニッセイ京都駅前ビル
東京本部：東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル10F

東急不動産ホールディングス